

ご厚志をありがとうございました

秋元新太郎 様	大塚俊治 様	佐藤義雄 様	原口貞治 様	橋本基一 様	西端哲雄 様	大沢充 様
天野ハル子 様	岡田英二夫 様	鈴木武之 様	深作孝 様	橋本秀光 様	林ふじ子 様	近藤佳代子 様
石原節代 様	金森成子 様	関根真弓 様	深町澄江 様	今井一男 様	坂本洋子 様	成田瑞江 様
板垣弘道 様	鎌田幸江 様	高橋明子 様	細田等 様	根岸文子 様	佐藤孝行 様	永鉢照子 様
市岡純子 様	神谷正一 様	高柳幸子 様	三輪博 様	秋元堅次 様	若杉育枝 様	小川武夫 様
稲川八重子 様	川田春子 様	田野政雄 様	持田順子 様	小野寺依子 様	中村芳子 様	吉田良子 様
岩崎照男 様	小林つぎ子 様	中川一 様	山田ゆかり 様	島田まち子 様	木附久江 様	湯本勝英 様
永藤静子 様	小山清 様	中澤真希 様	埼玉森林病院 様	あいおいニッセイ同和損保 様		
足利ガス 様	㈱ヒグチ電機 様	イーテクノス 様	㈱ケージーエム 様	ヘアーサロン サポート 様		
荒川青果 様	太陽設計 様	茄子のとも 様	NPO法人 彩花 様	県西在宅クリニック熊谷 様		
玉淀観光 様	岡村自動車 様	㈱アイラック 様	東京成徳短期大学 様	ベネフィットシステム 様		
日本食材 様	西武リース 様	㈱カイゴテック 様	菊屋 様	東毛給食センター 様	㈱環境工学研究所 様	

クリスマス会
(ながい寮)

12月4日に毎年恒例のクリスマス会を行いました。しかし、今年は新型コロナの感染対策を徹底しての開催です。午前の「職員当てゲーム」では、事前に撮影したインタビュー動画や、影のシルエットをヒントに、職員が誰かを当てるゲームを行いました。ステージ奥のスクリーンに動画を映すと、多くの利用者さんが「この職員さん、誰かな？」と相談しあって楽しむ様子が見られました。しかし、影のシルエットは利用者さんにとって分かりにくかったようで、体の一部を見せる工夫が必要だと感じました。

昼食は、クリームシチューに唐揚げ、フルーツの盛り合わせ、クリームあんパンを提供すると、皆さん美

味しそうに召し上がっておられました。クリスマスの雰囲気や食事の面でも感じて頂けて良かったと思います。午後の「ものまね歌謡祭」では、職員が歌手になりきり、声は出さずに口パクで歌を披露しました。それでも馴染みのある曲を選び、振りも付けたので、利用者さんの笑顔を多く見ることができました。後半では、複数の利用者さんがステージ上にあがり、素晴らしい踊りを披露してくださいました。

「マジックショー」では、引いたトランプのカードを当てたり、剣を箱に刺していくマジックを披露しました。職員が利用者さんと一緒に剣を持ち刺していくと、興味を引いたようで皆さんステージ上に視線が釘付けで、中の職員が無事に出てくると驚きの声と歓声が上がりました。全体を通してクリスマスの季節を感じて頂き、普段とはまた違った様子も見ることができました。

皆さんの協力のおかげで、コロナ禍でも思い出に残るクリスマス会を開催することができました。本当にありがとうございました。(村越)

社会福祉法人 むさしの郷 事業所一覧 <http://www.musasinogou.com> むさしの郷 検索

☐ 障がい者支援施設 ながい寮・法人本部 〒360-0125 埼玉県熊谷市上恩田514-2
TEL 048-598-7007
【施設入所支援 生活介護 ショートステイ】 FAX 048-598-7008
E-mail honbu@musasinogou.com

☐ 障がい者支援施設 むさしの青年寮 〒355-0008 埼玉県東松山市大谷4730
TEL 0493-39-1895
【施設入所支援 生活介護 ショートステイ 日中一時支援】 FAX 0493-39-1380
E-mail seinen@musasinogou.com

☐ 障がい福祉サービス事業所 けやき寮 〒360-0211 埼玉県熊谷市善ヶ島3310-1
TEL 048-588-1358
【就労継続支援B型】 FAX 048-588-8830
E-mail keyaki@musasinogou.com

☐ 共同生活援助事業 未来ホーム（グループホーム） 〒360-0203 埼玉県熊谷市弥藤吾578-18
【東方ホーム、福嶋ホーム、コスモスホーム、未来ホーム、一路ホーム】

迎春 むさしの

社会福祉法人 むさしの郷

〒360-0125 埼玉県熊谷市上恩田514-2

TEL048-598-7007

【mail】honbu@musasinogou.com

【web】http://www.musasinogou.com



～ 理事長 山下 達也 ～

新年明けましておめでとうございます。旧年からのコロナ禍ではありますが、皆様の変わらぬ御配慮に心より感謝申し上げます。

新型コロナウイルスによる感染は、ワクチン開発の朗報あるものの残念ながらこの冬に間に合いそうになく感染の連鎖を断つことは難しいのではないのでしょうか。皆様も日々の暮らしの中で、先の見えぬ不安に疲れていることと思いますが、職員も持ち込まず感染させぬ努力を続けて行きますので、引き続き、各事業所へご指導賜りますことを宜しくお願い申し上げます。

話は変わりますが、私の好きな曲の歌詞に下記のフレーズがあります。

『形のないもの 悲しみ喜び

形のないもの 涙と微笑み

生まれて死ぬ者 その傷の証よ』

唐突に書き込みましたが、私たちの仕事は、この「形のないもの」に携わることが多い職業です。決められたレシピや工程から同じものを作り上げる仕事ではなく、暮らしの中で人の心、尊厳、感覚、痛みにふれながら、生涯に寄り添い続けることが支援となります。

そして、形のないものを受け止めるには、私たちの心の

中にも形のないスケールを携えておかなければなりません。それが『思いやり』ではないでしょうか。思いやりのない正しさは、立場違えば争いさえ起こします。正しさのない優しさは、虐待やパワハラの言い訳になってしまうかもしれません。また、人は強さではなく強さの奥にある温情に魅力を感じるものであり、人は目的や計画に力を貸すのではなく、それを成し遂げようとする熱意や直向きさに何かをしてやれないかと体が動いてしまうものではないかと思っています。

日々の暮らしや仕事の中で、相手の立場や感情を推し量り、喜びを笑顔で分かち合い、悲しみや涙にそっと心を寄せる、こんな社会不安の中だからこそ思いやりがより人の心を温めるはずです。

旧年、自分の至らなさ、弱さに負けそうな場面で多くの方に支えられたことが難い思いやりの恩送りしていきたいと思っています。

「思いやりの大切さ」 (けやき寮 主任 風間 敬志)

2年ほど前から帰宅途中にある公園でジョギングをしています。その時、障がい者用駐車場に障がい者マークのない方が車を停めている事が多々あります。障がい者マークを貼ってないから健常者とは限らないのですが、犬の散歩に來た御夫婦やスケボーを持って降りてくる若者等を何回か見かけた事があります。停めても罰則があるわけではありません(妊婦や内臓に疾患のある方は、停めてもいいようです)。

ただ、近い、広い、といった理由で車を停める行動が不思議でなりません。実際に車いすの方が車を停められずに狭い駐車場で乗り降りしたり、利用をあきらめた方もおられるようです。

休日、自宅付近の生活道路でジョギングをしています。その時に感じるのは、車のスピードが速い事。横断歩道や高齢者の自転車等での事故の増加から歩行者保護が話題になっているのに「道路は車優先」と思っているのでしょうか。これらは、モラルや相手を思いやる事が欠如しての行動です。「ちゃんとしましょう」と口で言っても変わらないでしょう。実際に相手の立場になって体験しないと分からないのかもしれない。

人は、いけないと分かっている「雨だから近くに停めよう」や「急いでから早く行くんだ」と自分本位になりがちです。ですが、自分より困っている人がいる事を理解する気持ちが大切です。

自分はより良い社会になるよう「正しいと思う事」を実践し、モラルや思いやりのある人を目指したいと思います。



<寮内レク・ＢＢＱ> けやき寮

新型コロナウイルス感染拡大の中、新しい生活様式推奨や外出自粛期間の影響でリネン作業が滞り、反対に GoTo の影響で急激に搬入されるリネン製品。更にこれからはインフルエンザにも気を付けなければいけない季節になる為、利用者さんも大変な時期を過ごしています。

その中で仕事を頑張る利用者さんが少しでも楽しめる様にと、今回も寮内レク・ＢＢＱを実施。消毒液の使用や消毒を徹底しながら密を避け、カラオケ・スポーツ・ＤＶＤ鑑賞を行いました。

スポーツでは障害物ウォーキング、キャッチボールをゴムボールで楽しみ、カラオケは十八番の熱唱で盛り上がりました。ＤＶＤ観賞では「飛んで埼玉」を上映。住んでいる県が題材にされつつ、普段テレビで見ている俳優の演技

を熱中して観ており、ワクワクしている様子でした。

昼食は施設屋外でお祭りの定番焼きそば、チョコバナナにワントンスープを提供しました。調理をする職員を見学して、食事前に大きなチョコバナナ作りを経験してもらう事で、いつものＢＢＱとは一味違う楽しみを提供でき、利用者さんも満足そうにされていました。

いつまでコロナ禍が続くか分からない状況で、利用者さんが喜んで参加したいと思える様な行事計画が必要になってきています。けやき寮では行事が寮内レクとして続くと思われませんが、新しいものを導入して楽しみや経験を増やせる様にしたいと思っています。(池本)



『挨拶から始まった初めての支援』

(むさしの青年寮 支援員 前中 真一)

平成 28 年 1 月 7 日、私の支援員としての仕事がスタートしました。実はむさしの青年寮に入社前、ある障害を持った方と関わる機会があったことを思い出したので書いて行こうと思います。

むさしの青年寮に入社するかなり前の話になります。当時、朝のジョギングが日課だった私は、近所の公園に頻繁に通っていました。その時に毎回すれ違う若そうな男性と、連れ添った中年の男性。若そうな男性の方は何やら機嫌が悪そうな面持ち。中年の男性が何か話しかけながら歩いていました。私は何気なく「おはようございます」と挨拶を 2 人にしてみたら、一瞬間こちらを見つめた後「おはようございます！」と元気な笑顔で挨拶が返ってきました。その後は毎回挨拶をする仲間になりました。

ある日、普段より早くジョギングに出発した時、ある家の前にその二人が立っていました。いつも通り挨拶を

交わしその日の午後、所用で市役所に行った際玄関付近で野菜を売っている方たちを見かけました。特に関心なかった私はその場を立ち去ろうとした時「お兄さん！」と声を掛けられ振り向くと毎朝すれ違う二人の男性の姿が。そこで少し立ち話をしてみたことは、付き添いの男性が障害者施設での支援員で、毎朝その青年の出立を迎えに来ていたようでした。その青年は中々出勤しなかったようですが、私との挨拶がきっかけで挨拶する事が楽しみになり、普段より早く家を出るようになったと話していました。今日も私が来るのを待っていたとのこと。その時の温かい気持ちは今でも忘れる事が出来ません。達成感も似た気持ちになりながらその青年が売っていたナスを購入し家路に着きました。

あれから何年経ったのでしょうか？まさかあの時この業界に入るとは思いませんでしたが、最前線で仕事をしながらこのような温かい気持ちになることが多くなりました。支援員として働いていけば良い事だけでなく、悪い事もあります。そんな時はあまり難しく考えず、一言の挨拶で心を動かす事が出来た 1 人の見知らぬ男性のことを思い出して、これからも利用者へ笑顔で届ける業務に励もうと思います。



～ハロウィンイベント～ むさしの青年寮

初めての試みとして「むさしの青年寮ハロウィンイベント」を 11/7 (土) に実施しました。仮装をしてお写真撮影、音楽に合わせてのダンス、ファミリー毎におやつをもらいに行くトリックオアトリートの 3 つが大きな内容でした。

仮装写真撮影では他の利用者さんの姿を見て「自分も着たい」、「着替えの手伝いをしてほしい」などの訴えがあり、多くの方が仮装を楽しまれていました。

ダンスでは予想を超える多くの利用者さんが参加され大盛況でした。またトリックオアトリートではファミリー毎にお菓子を貰いに行き、皆さんとても楽しそうな様子でした。

今年度は新型コロナウイルス感染予防の為、皆さんには外出の制限、暑気払いや保護者会主催の芋煮会などのイベントが中止になり、例年に比べて楽しみが減ってしまっているのが現状でした。

この状況下で「何か利用者の皆さんに楽しんで頂けるイベントを企画出来ないか」と言うのが、ハロウィンイベントの企画に至った経緯でした。

利用者の皆さんとイベントの企画、準備、実行する中で、飾り作りを一緒に行ったり、どんな仮装をしてみたいか話をしたり、当日一緒に仮装して踊ったりと楽しみを共有する中で、私自身が 1 番楽しんでしまっていたのではと感じています。

新型コロナウイルス感染予防はいつまで続くかわかりませんが、利用者の皆さんが楽しめるようなイベントをまた計画していきたいと思っています。(出口)

